

# 除雪体制は整いました

## いつでも来い雪！

天気図に西高東低・冬型の気圧配置が表れるようになってきました。冬將軍が木枯らしにのつてやつてくると、いよいよ雪のシーズンです。市では十二月一日に除雪対策本部(土木課内)を設置しました。冬も快適な道路にするため、万全の除雪体制を整えています。

### 除雪総延長

418キロメートル

この冬、市が除雪する路線の総延長は四百十八・メートルに及びます。その内訳は、市道三百七十・、歩道二十・、私道二十八・。昨年と比べ、市道と私道でそれぞれ三・、歩道で二・、合計八・長くなっています。

歩道や通学路の除排雪は、交通量の増加に伴い歩行者の安全確保ということからますます重要になってきています。しかし、歩道除雪は道路構造、除雪機械、工法など多くの問題点を抱えています。現在は機械による除雪が一般的ですが、付近に住む皆さんにもご協力いただきながら「雪みち計画」等に基づき今後

より一層の歩行者空間確保を進める考えです。

除雪車両は、グレーダーやロータリーなど市直営車両が十二台、民間からの借り上げ車両が八十台、全部で九十台が用意されています。この中には今年度市が新しく購入したグレーダー一台も含まれています。

新雪除雪や路上にできた圧雪、氷盤の除去、路面を平らにするのに最適なグレーダー、路肩などに積もった雪を路外に排出したりするのに威力を発揮するドザーやロータリー除雪車、これら機械の機動力に併せ、除雪に携わる各係員は除雪区域のパトロールや気象情報等の収集など二十四時間態勢で降雪に備えています。

また市では、スタッドレスタ

イヤの時代に対応するため、圧雪の除去、わだち発生防止・解消に努めるほか、坂道でのスリップ防止対策として、融雪剤(凍結防止剤)を散布する箇所を増やすと同時に、散布回数も例年以上に増やすことにしています。

### 主要幹線は

### 常時確保

除雪は、国、県、市のそれぞれの役割分担で進められます。

市では、一回の降雪量が十センチ以上と予想される場合に、雪の降り方や気象情報に注意しながら速やかに出動し、早期除雪に努めます。

交通量の多い主要幹線やバス路線、通園・通学路など、緊急性の高い路線から順に作業し、車両や歩行者の通行に支障をきたさない時刻に終わるよう総力をあげて取り組みます。

通常、除雪作業は午前三時から開始され、通勤・通学等に影響を及ぼさないよう午前七時三十分ごろ終了を目途に進め

ていきますが、降雪状況によっては昼夜を問わず作業します。ただし、積雪量や降雪時刻等のため、地域によってはどうしても若干作業が遅れる場合もありますから、あらかじめご了承ください。

私道、特に住宅に接する生活道路や集落間の連絡道路などでもできるかぎり除雪しますが、除雪車が入れる道路、小路については雪を積み上げる場所が確保されている場合でなければできませんのでご理解ください。また、雪を積み上げる場所として、空き地や広場等を一時的にお借りすることがあった場合は、よろしくご協力をお願いします。



除雪目標	
第1種 (主要幹線)	1日交通量がおおむね1,000台以上。2車線以上の幅員確保を原則とし、異常な降雪時以外は常時交通を確保する。
第2種 (幹線)	1日交通量がおおむね500~1,000台。原則は2車線の幅員確保とするが、状況によっては1車線として退避所を設ける。
第3種 (その他)	1日交通量がおおむね500台以下。1車線の幅員で必要な退避所を設けることを原則とする。